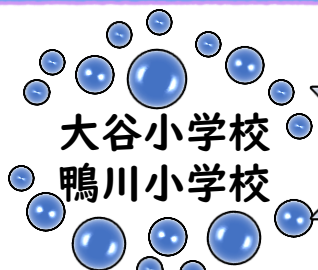


令和8年度 南中学校区小中一貫教育グランドデザイン



小中一貫 目指す児童生徒像

自ら考え主体的に取り組む児童生徒
自己を律し他人を思いやれる児童生徒
心身ともに健康でたくましい児童生徒



大谷小学校
鴨川小学校

南中学校

南中学校区の課題

▲自己効力感の向上

▲学力の向上 (主体的対話的な学習の充実)

スムーズな接続

- ①「めあて」「振り返り」の充実
- ② 自己効力感を高める「感謝の木」
- ③「体育祭合同参加」
- ④「サマースクール」
- ⑤「南中学校区生徒指導連絡協議会」
- ⑥「小中合同教員研修会」
- ⑦「南中学校区学校運営協議会」

全体を貫く仮説

学習の型の定着を図れば、
主体的な学びにつながるだろう。

中学校



多様な他者と協働し、
最適解を求めて主
体的・創造的に課題
を解決する

義務教育9年間
を見通し、発達
段階に応じた
目標の設定



南中

- ①「ゆだね」の授業
- ②非認知能力の向上

小学校(高学年)

学校や地域の課題を
自分事として捉え、多
様な考えを整理して解
決に努める

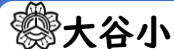
小学校(中学年)

身近な生活から問いを
見出し、見通しを持っ
て解決に取り組む



小学校(低学年)

自ら課題を見つけ、自分
なりの方法で最後まで
やり遂げる



大谷小

- ①自由進度学習
- ②「と・あ・く・ま」



鴨川小

- ①「かもまるスタンダード」
- ②家庭学習のすすめ

教職員の絶え間なき改善・改革

○目指す児童生徒像の共有、各発達段階の課題の共有、一貫した目標の設定

○一貫した指導、各発達段階、各校の現状を意識し、協働した教育活動の展開